

宇治市まちづくり・景観条例を使って、まちづくりに参加しませんか？

★★宇治市まちづくり・景観条例とは★★

宇治市まちづくり・景観条例は、「まちづくりへの市民参加」「景観の形成」「開発事業の調整」を3つの柱とした、一体的に宇治市のまちづくりをすすめるための条例です。

(条例の詳細については 宇治市ホームページ 都市計画・まちづくり→宇治市まちづくり・景観条例 に掲載しています) 特に「まちづくりへの市民参加」について、宇治市では地区のまちづくりについて地元住民の皆様自身が考えてすすめていく集まりを地区まちづくり協議会として認定し、その取り組みを積極的に支援していきます。

大久保地区においても、現在あるいは将来のまちづくりに向けて地区の皆様が地区まちづくり協議会を設立して議論をされていくことが非常に有効であると考えられます。

関心のある方は、都市計画課窓口での相談やまちづくり出前講座を是非ご活用ください。

条例の内容をまとめたパンフレット



条例の内容についてまとめたパンフレット「みんなで進めるまちづくり」と特に市民参加の内容について詳しく掲載した「まちづくりのすすめ」を宇治市役所4F都市計画課窓口や、お近くの公民館等に設置しています。また宇治市都市計画課ホームページにも掲載しています。ぜひご覧ください。

まちづくり出前講座

まちづくり出前講座は地域のみなさまの集まりに職員が出向いて宇治市まちづくり・景観条例の内容やまちづくりに関する様々な疑問にお答えする制度です。

事前に申込みが必要(開催予定日の14日前まで)であり、その際にお話する内容についても調整させていただきます。

ご関心のある方は一度都市計画課まちづくり支援係にまでお問い合わせください。

* 9月27日には広野地区自治会連合会にて、宇治市まちづくり・景観条例の説明を行いました。



大久保サテライトキャンパスをご存知ですか？

生活に根ざしたコミュニティの交流を目的として、スーパー(平和堂100BAN店)の売り場内に京都文教大学・京都文教短期大学サテライトキャンパスが今年5月にオープンしました。

大学生のゼミや実習として活用する他、地域の方々が企画するイベントやワークショップなどの活用スペースとしてもご利用いただけます。

利用に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

京都文教大学フィールドリサーチオフィス
Tel: 0774-25-2630 E-mail: fro@po.kbu.ac.jp



平成20年5月25日に行われた開所式の様子

大久保まちづくり ニュース

平成20年11月10日発行

発行元: 宇治市都市整備部都市計画課
〒611-8501 宇治市宇治琵琶33番地
Tel 0774 (22) 3141 (代)
Fax 0774 (21) 0409
E-mail toshikeikakuka@city.uji.kyoto.jp

JR新田駅のバリアフリー整備に着手しました



大久保駅周辺地区交通バリアフリー基本構想策定時に実施した「交通バリアフリー点検」の様子

大久保駅周辺地区整備構想ならびに大久保駅周辺地区交通バリアフリー基本構想で掲げていました「JR新田駅バリアフリー化」の事業に着手しました。今年度については工事に先立つ詳細設計に入り、来年度より本格的な工事に着手していきます。平成22年度までにすべての工程を完成させることを目標に、事業をすすめています。

鉄道事業者である西日本旅客鉄道株式会社より以下のような整備概要が示されています。

◇整備の概要

- ◆ エレベータの設置
- ◆ スロープの新設(駅構内・構外)
- ◆ 運行情報案内板(LED)の新設
- ◆ 多機能トイレの新設
- ◆ 車いす対応幅広改札口の整備

【目次】

- JR新田駅のバリアフリー整備に着手しました・1
- 大久保名木線歩道に視覚障害者誘導用ブロックが整備されました……………2
- 大久保まちづくり交付金事業等の進捗状況……………3
- 宇治市まちづくり・景観条例の紹介……………4

このニュースは、大久保駅周辺地区におけるまちづくりの状況などをお伝えするため、町内会・自治会のご協力のもと、地域住民の方々へお届けしております。

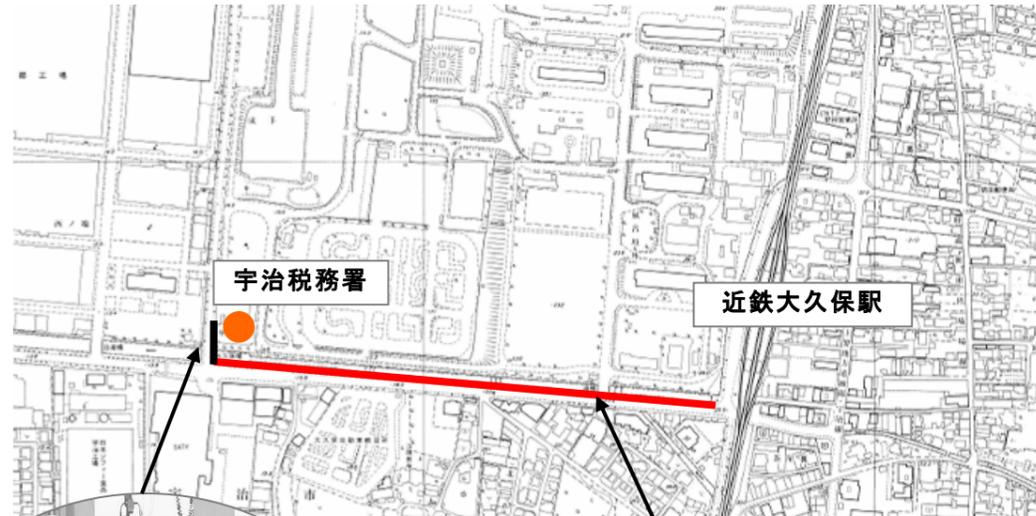
大久保駅周辺地区のまちづくりについては、宇治市ホームページでもご覧になれます。

- 宇治市ホームページアドレス: <http://www.city.uji.kyoto.jp/>
- トップページ > まちづくりと環境 > 都市整備・計画 > 都市計画・まちづくり > 大久保駅周辺地区のまちづくり

大久保名木線歩道に視覚障害者誘導用ブロックが整備されました

大久保名木線歩道（宇治税務署前）に視覚障害者誘導用ブロックが整備されました。

当該地区の歩道については、平成18年11月に作成された「大久保駅周辺地区交通バリアフリー基本構想」において重点的にバリアフリー化をすすめるものとしています。



宇治税務署

近鉄大久保駅



大久保名木線歩道(宇治税務署前)



府道宇治淀線 歩道

→すでに府道宇治淀線には昨年度に視覚障害者誘導用ブロックが整備されており、今回の工事により近鉄大久保駅から宇治税務署まで連続した視覚障害者誘導用ブロックが整備されました。



整備前

大久保駅周辺地区まちづくり交付金事業 及び 新宇治淀線整備事業 の進捗状況

現在大久保地域では、宇治市が補助金を活用してすすめている「大久保駅周辺地区まちづくり交付金事業」と京都府がすすめる「新宇治淀線整備事業」がそれぞれ事業実施されています。

★大久保駅周辺地区まちづくり交付金事業

大久保駅周辺地区整備構想の中で、当面の取り組みに位置付けられた市の事業について、「まちづくり交付金」という国の補助金制度を活用して、平成19年度より実施しています。平成23年度までにすべての事業を完了する予定です。

バス・タクシーの乗降場、待機場を備えた駅前広場を整備し、交通結節機能の強化を図ります。現在、用地測量や設計の作業をすすめています。

■近鉄大久保駅前広場整備

新宇治淀線の整備にあわせて、名木川の北側にも沿道利用のための側道を整備します。測量・設計が完了し、現在用地の取得に向けての交渉を行っています。

■新宇治淀線北側側道整備

■名木川散策道整備

昨年秋より工事をすすめ、今年の3月に大久保小学校南側に写真のとおり散策道が完成しました。

市道大久保町21号線には歩道の視覚障害者誘導用ブロック設置等をすすめます。市道大久保町97号線は歩道の一部拡幅をすすめます。それぞれ測量・設計が完了し、現在用地の取得に向けての交渉を行っています。

■市道大久保町21号線・97号線バリアフリー化

名木川を新宇治淀線の整備にあわせて改修し、治水能力の向上を図ります。現在、事業に必要な用地の取得に向けての交渉をすすめています。

■名木川河川改修

■まちづくり協議会等活动支援

地域住民が主体となりまちづくりのルールなどを検討するまちづくり協議会等の設立活動を促進し、この活動を支援します。

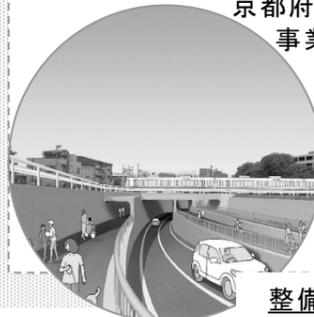
★新宇治淀線整備事業

新宇治淀線は、現在の府道宇治淀線における交通渋滞や歩行者に対する安全確保などの問題を解決するために、バイパス道路の整備によって交通の円滑化・安全性を向上させるものです。

京都府が主体となり、平成24年度の完成を目標として事業を進めています。

事業に関係する地権者の方々への説明会が実施され、今後は必要となる用地の取得に向けた交渉を行っていきます。

→新宇治淀線の整備後は周辺のまちづくりにも大きな影響があるものと考えられます。新しいまちづくりをすすめるにあたっては、次ページで紹介する宇治市まちづくり・景観条例を活用するなど、地元の皆様にも是非参加していただきたいと思っています。



整備後イメージ